

令和4年度第2回神石高原町農業委員会総会議事録

開 会	事務局長	ただいまから令和4年度第2回神石高原町農業委員会総会を開会致します。まず始めに会長より挨拶を頂きます。
会長挨拶		(会長挨拶)
	事務局長	ありがとうございました。続きまして欠席者の報告ですが本日の欠席者は■番■■■■委員、■番■■■■委員以上の2名です。従いまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により在任委員数14名中出席者は12名でありますので過半数を超えております。総会が成立することをご報告申し上げます。尚、議事の進行につきましては会議規則第3条の規定により会長にお願いします。
議事録署名 委員指名	議 長	それでは議事に入りますまでに、本日の議事録署名委員の指名をさせていただきます。■番■■■■委員、■番■■■■委員にお願いします。
第1号議案	議 長	それでは議事に入ります。議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請について」を議題とします。説明をお願いします。
		(事務局説明)
	議 長	ありがとうございました。3-6の案件につきましては、空き家バンクの登録案件でございますので事前審査をお願いしておりません。空き家バンクに基づく農地の申請についてご意見、ご質問がありましたらお願いします。
	議 長	無いようですので採決に移らせて頂きます。 議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請について」申請通り許可することに賛成の農業委員の方の挙手をお願いします。 (全員賛成) 挙手全員でございますので申請通り許可することとします。
第2号議案	議 長	続きまして議案第2号「農地法第4条の規定による許可申請について」を議題とします。説明をお願いします。
		(事務局説明)
	議 長	ありがとうございました。担当推進委員による現地調査をお願いしております。4-7の案件につきまして、■■■■推進委員をお願いします。
	■番	■■■■区担当の■■■■です。5月20日■■■■委員とこの申請人の代理人である■■■■の■■■■さんと私で現地確認を行いました。場所は■■■■より■■■■線を■■■■kmほど■■■■方面に行ったところでございます。近くには■■■■があります。写真をみてもらったら分かるように建物がすでに建っておりまして、これは30年ぐらい前より宅地として造成工事を行い農業用倉庫を一棟と物置を一棟建てたということです。これにより近くの農地に影響を及ぼすことはないと思われまので、審議のほどよろしくをお願いします。またこの件に関しまして始末書が出て

		おります。以上です。
	議 長	報告が終わりました。ご意見、ご質問がありましたらお願いします。
	■番	調査をしたものが聞いてみるんですけど、この土地はもうすでに地籍調査が終わってしまっていてその図面を見せてもらったところ宅地になっているんですが、こういう案件も登記されるまでは取り上げて出さないといけないんですか？どちらが優先されるんでしょうか？
	事務局長	基本的には地籍調査がだいたい3年で現地調査等が完了するんですが、今現地調査が10年かかっている地域があるというふうに聞いております。ですので、非常に難しいと思いますが原則お願いするということが大前提になるのかなと思います。
	議 長	地籍の登記は済んでる？
	事務局長	まだです。
	議 長	図面だけはできてるんですね。登記はいつ頃になる？
	事務局長	ここの地域はトラブルがあってとんでいる地域ですので、少し時間がかかる地域かなと私のほうは認識しています。油木のほうの地域でも現地調査したのが平成22年ぐらいのところはまだ登記されていないという話を先ほど担当としましたし、豊松でも7、8年前に現地調査が終わったところもできていないということがあります。原則でいくとお願いするということになろうかと思います。
	議 長	地籍のほうでの番地はどうしてる？この番地を活かすんでしょうか？
	事務局長	そうです。甲乙は油木以外は取りますので、乙は1つ上の1000番台を地番としてつけるということになっておるようです。
	議 長	地籍の登記がいつになるか分からないということになると、やってもらわなくてははいけないでしょう。家のほうはどうなってるんですか？
	事務局長	そこのお家は火事で焼けてもうないんです。現状は家はなくて倉庫だけが残っている状況です。
	■番	前回その前の田んぼに現地調査に行ったんですが、その時はもう火災になっていたんですが昨年のパトロールで■推進委員がチェックをかけて、田んぼの申請の時に前の局長さんがこれも直してもらおうようお願いをしてくださいということだったので、お願いをしてこの申請が出てきているんだと思います。ただ、建物は航空写真では残っておりますが現状はありません。倉庫だけです。
	議 長	■となっているが分筆してあるのかな？
	事務局長	これは税金上の孫番というのをつけさせていただいております。それで一部宅地、一部田というような区分分けができているとご理解いただければと思います。
	議 長	いつできるか登記の時期が未定ということになれば、地目変更してもらえればと思います。
	議 長	他にございませんか。無いようですので採決に移らせて頂きます。

		議案第2号「農地法第4条の規定による許可申請について」申請通り許可することに賛成の農業委員の方の挙手をお願いします。 (全員賛成) 挙手全員でございますので申請通り許可することとします。
第3号議案	議長	続きまして議案第3号「非農地証明申請について」を議題とします。説明をお願いします。
		(事務局説明)
	議長	ありがとうございました。担当推進委員による現地調査をお願いしております。1-1の案件につきまして、 推進委員をお願いします。
	 番	 地区担当の です。受付番号1-1について報告します。場所は より ハ約 kmの の近くで の 地区にあります。5月22日に 委員と申請人であります さんと私の3人で現地調査を行いました。以前より耕作できておらず現在は雑木が繁茂し原野のようになっています。これからも耕作する予定もなく地目変更したいということです。申請に際して必要書類である土地登記簿謄本、公図の写し、現地案内図等添付されており何ら問題ないものと思われま。審議のほどよろしくをお願いします。
	議長	ありがとうございました。報告が終わりました。ご意見、ご質問がありましたらお願いします。
	 番	今回非農地証明ということで さんが申請されていますが、航空写真の右下のほうの 番地にも畑があるんですが、これは一緒に申請されなかったんですか？おそらく今回申請されたよりもすごいところではないかと思うんですが。
	事務局長	おそらく、非農地申請ということで台帳に載っておりますから は過去にされている可能性があります。
	 	非農地の許可は降りていても登記を済まされていないんだと思います。
	議長	今回許可書を取りに来てもらうときに登記してもらわないといけませんね。
	事務局長	はい、許可書をお渡しする時にお話しをさせて頂きたいと思います。
	議長	他にございませんか。無いようですので採決に移らせて頂きます。 議案第3号「非農地証明申請について」申請通り許可することに賛成の農業委員の方の挙手をお願いします。 (全員賛成) 挙手全員でございますので申請通り許可することとします。
第4号議案	議長	続きまして議案第4号「農用地利用集積計画について」を議題とします。説明をお願いします。
		(事務局説明)
		(担当者説明)
	議長	ありがとうございました。報告が終わりました。ご意見、ご質問がありま

		したらお願いします。
	■番	2点ほどお伺いしたいんですが、1点目は農地の貸借について先月も話しが出たと思うんですが経営基盤強化法と農地法3条の違いで、この中のものは全部経営基盤強化法でいいのかまたは今度農地法3条に変わるのかというところの違いが1点と、6-9、10の案件の■さんと■さんですが地番が■になっているんですが多分ここは田の真ん中に境界線あって東城分が一緒になった土地なんじゃないかなと思うんですが、こういう案件の時に神石だけ出てるのか東城のほうにも出てるのかということが分かりますか。助成金が出ているのか出ていないのかそこらへんも兼ねてどちらが主導権を持ってやっているのかなあと思っています。
	■	先ほどの1点目のご質問でございますが現在農地の利用権設定につきましては農地法という法律とこの度の基盤強化促進法のものとは農地中間管理機構法による利用権設定という3つの方法があります。現在国会のほうで審議が終了し可決されたということで今後農地の法律について大きく変わります。法律が可決されて来年の4月に施行されることとなりますと経営基盤強化法も改正され現在経営基盤強化法で利用権設定されているものが農地中間管理法による利用権設定に変わる見込みです。ですから今は農地法と基盤強化法と農地中間管理機構法の3つあるわけですが、これが来年の4月以降は農地法と農地中間管理の法律2つになります。この農地中間管理機構というのは今後また農業委員の皆さまにもご協力をいただくわけですが、農業委員会のほうで目標地図というものを作成します。目標地図は1筆ごとに誰が将来担っていくかというのを農業委員会のパトロールをもとに1筆ごとに各地域で作成をされます。その目標地図に基づいて今でいう人・農地プランというものを2年以内に市町村が作成しなければならないという法律で決まりました。そこへ掲げられた農地につきましてはすべて農地中間管理機構による利用権設定を下さいよというふうにごこの度の法律で改正されました。ですから事実上今回議案にあります農業経営基盤強化法による利用権設定は無くなって農地法による利用権設定または機構法による利用権設定この2つに絞られてくるかと思えます。まだまだ法律が可決されたばかりで具体的な内容についてはこれから詳しく出てこようかと思えますが、詳しい内容が出てきましたらまたこの農業委員会の研修会を通して皆様のほうにおつなぎをしていきたいと思っております。現在のところそういうふうな流れということで詳しく答弁にはなっていないと思うんですが、今現在のご回答にさせていただきたいと思えます。
	■	6-9と6-10の案件ですけどこれは実は東城町のほうだけ利用権設定がされているものです。■の■という地域なんですけど田んぼの1枚の真ん中に町境が入ってまして神石分は■の今書いてある番地なんですけど、東城町は残りの部分を全然違う番地で東城の番地がふってあり

		<p>ます。今回これが出てきたのは6-9の利用権設定をする者のほうの■■■■さんからで、作られている作物が飼料作物なんですけど現地調査でA判定が出たんだと思うんです。それで農業委員会のほうに人に貸して作ってもらっているんですけどどうしたらいいでしょうかという問い合わせがあったことから分かりまして、神石高原町のほうも合わせて利用権設定をしてもらうようにということで、同じような確認をしていたらもう1件■■■■さん■■■■さん分もあったということです。東城町のほうで申請を進められて出てきたということになります。水田台帳はもちろん東城のかたなので東城のほうについているんですけども、利用権設定はそれぞれしていただくことになっていますので次からはちゃんと出てくるのかなと思っているんですけど、今回は東城だけされていて神石高原町のほうが出来ていなかったという扱いになっていました。</p>
	■■■■番	■■■■さんの場合は資料作物ということなら水田転作で補助金が出ているんだと思うんだけど、それは東城町から出ている？
	■■■■	そうです。
	■■■■番	うちは利用権設定の部分だけで関わっているということですか？
	■■■■	1枚の田んぼを作ってもらうのにはどちらにも出してもらわないといけないんですけど、東城だけ出されていて水田台帳は全部の面積で入っている形になってました。
	■■■■番	難しいところですね。分かりました。
	議長	ということはこの面積は高原町の部分の面積？
	■■■■	そうです。
	議長	それと12-1の■■■■は解除条件付きになるんよね？
	■■■■	そうです。
	議長	<p>それと■■■■委員から質問のあった基盤強化法と3条の関係ですがそもそも基盤強化法というのは担い手が土地を容易に貸し借りできるために、農地法とは別にこの法律が作られたということで基盤強化法での利用権設定は契約期間が満了したら自動的に契約は消滅をするという制度になっています。農地法の3条を利用いたしますと申請をして農業委員会の許可を受けない限り3条の賃借権はずっと末代まで残ってきます。本来なら県あたりに言わせますと基盤強化法を作るのは担い手が中心であって小さい農家まで基盤強化法を使うのはおかしいよという言い方をしたりするんですけど、便宜上基盤強化法で本庁の場合はすべて運用してきているということです。ですから3条で賃借権をつけていたら油断していたら農地台帳へ取り消し申請が出ない限りずっと残りますから次の人が借りようとしても借りられない事態が発生するんです。要するに契約満了時点の手続きが簡単にできるかそうでないかの違いというのが大きな課題です。ですから、さっき山村係長が言いましたように目標地図で地図内に入っているとところは全部中間管理機構経由で貸し借りをしますよというのが原則</p>

		で、それから外れたところは3条でやりなさいよということになりますので目標地図の作成段階でどういう知恵を出すのかがこれからの大きな課題になってこようかと思います。
	議長	他にございませんか。無いようですので採決に移らせて頂きます。 議案第4号「農用地利用集積計画について」申請通り許可することに賛成の農業委員の方の挙手をお願いします。 (全員賛成) 挙手全員でございますので申請通り許可することとします。
	議長	以上で本日ご提案します議案については終了しました。
		午後2時14分
		以上、議事の経過を記載し、その内容は相違ないことを証するため

		署名します。 令和4年6月28日
		会長 <hr/> ■番 ■委員 <hr/> ■番 ■委員 <hr/>